

令和7年度

パピーナ荻窪天沼保育園 すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 仲間分け、形の分類

仲間分けの発展として、より多くのカードを使い、色、形で仲間分けをする

環境をデザインする

- 準備した物 カード、台紙

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年11月28日
時間	30分
参加人数	17人

探究活動を実践する

●活動内容

色、形で分けてみる

並べて比べる

●子どもたちの様子

以前使用した色と形のカードを見せ、「これを覚えているかな？」と問うと、「前に見たことがある！」と答える姿があった。前と変わった点を問うと、広げたカードをじっくり見て「うーん？増えた？」と考えて気づく姿があった。長四角と緑が増えたカードを仲間に分けてみようと言をかけると、「どんな仲間わけようか」「色で分けて良い？」など相談しながら色や形で分け、仲間ごとに並べようとする様子が見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

4色の丸、三角、四角、長方形のカードの仲間分けを行った。色ごとに分けたり形で分けたりする姿が見られた。他児のものを見比べて様々な分け方があることに気付く姿もあった。その後、色と形両方に着目した仲間分けの表を行った。前回に比べて枚数が増え、難易度が上がったため苦戦する児もいたが、理解すると嬉しそうな表情を見せていた。

講師より

以前の経験を思い出しながら新しいカードの変化に気づこうとする姿が見られ、緑のカードと長四角のカードが増えたことにも関心を向けていた。友達と相談しながら「色」「形」など何で分けるかを自ら考え、仲間分けに取り組むことで、考えて試そうとする姿が育ってきている。これからも子どもたちの気づきや挑戦する気持ちを導き出せるような働きかけを大切にしていきたい。



令和7年度

パピーナ荻窪天沼保育園 すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 1あたりの量の理解

「1あたりの量」と「いくつ分」の考え方を理解する

環境をデザインする

●準備した物

タイル

探究活動を実践する

●活動内容

乗り物の1あたりの量の数の数え方を考える

●子どもたちの様子

「ぞうの鼻は何本あるか」と尋ねると「1本!」と大きな声で答え、「ぞうが2頭になったら、鼻は何本?」との問いにも「2本!」とはっきり答える姿が見られた。自転車一台のタイヤの数を確かめ、「自転車が2台になったら、どうなる?」と問いを重ねると、「タイヤは2個と2個!」とタイルを並べる姿があった。三輪車と自動車のタイヤの数も一台分ずつ確かめ、数えながら2台分、3台分とタイルを並べていく様子が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

数について行った。自分で考えながら行う児もいた。乗り物の絵カードを見ながらタイヤの数を全て数えてからタイルを並べる子もいれば、「自転車分、三輪車分、車分」と分けて行っている子もいた。興味を示し、色々なやり方を工夫していた。

講師より

タイヤが1台に○個ずつ、1台分から次は2台分、そして3台分、と乗り物が増えていくにつれ、タイヤも増えていくのに、面白さを感じ、興味を持って考えているようだった。実際にタイルを使って、自分で並べることで、1台分のタイヤ、それが何台分と着実に考えようとする姿があり、数への興味の育ちと最後まで考えてみようという姿勢の育ちを感じた。